

2021年度 戦略施策マネジメントシート【2020年度実績評価】 作成: 2021年 6月 16日

施策番号 1-2	施 策 名 雇用促進プロジェクト	雇用促進プロジェクト	基本的方向	誰もが希望する働き方でいきいきと輝けるまちをつくる
			基本目標	安定した産業と雇用を創出し、誰もが活躍できる社会づくり
主 管 課 施策関係課	商工労政課 健康福祉課		課長名 仲野 裕司	内 線 247

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果	
年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰もが希望する働き方を実現し、いきいきと輝いて暮らせる取組を進める		町民	・起業者や多様な働き方を実現する ・町内企業の経営安定化と、障がい者の自立を進める				・誰もが活躍できる社会になる ・住み慣れた地域で安心して住み続けられる	
重要業績評価指標(KPI)	説明	単位	策定時(基準値)	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2024年度(目標)	
① 町の支援により起業した人 数	実績数(R2～R6 累計)	人	3	2			10	
② 就労支援事業所から一般 就労した方の人数	実績数(R2～R6 累計)	人	8	0			12	
③								
評価指標 設定の考え方	①起業を希望する方を対象にしたセミナーなどを通じて起業者を増やす。 ②誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現のため、障がい者の自立支援と社会参加の促進を目指し、第5期総合計画の成果指標と同様としている。							

2. 施策の事業費

	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費 (千円)	6,254		
人工数(業務量)	0.0109		

3. 施策の達成状況

(1)施策の達成度とその考察			
①2020年度 の成果評価 (策定時比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定され る理由	○女性向けの起業セミナー等を通じて起業につながっていること から、成果は向上していると言える。 ○就労支援を通じて、継続して事業所から一般就労している。
②2024年度 の目標値達成 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成で きる <input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難 しいが、現行事業の見直しや新規事業 の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施を しても目標達成は難しい	根拠 (理由)	○継続して起業例があり、起業セミナーほか関連事業を通じて、今後も起業事例が増加すると考える。 ○今後は、通勤サポートなど、企業と障がい者の雇用マッチング事業を推進していくことから、目標は達成できると考 える。
(2)施策の成果評価に対する第2期茅室町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業の総括			
①施策の成果向 上に対して貢献 度が高かった事 務事業	起業セミナー開催事業 障がい者雇用促進事業	②施策の成果向 上に対して貢献 度が低かった事 務事業	
③事務事業全 体の振り返り(総括)	○女性のための起業セミナーとして太田明子ビジネス工房代表の太田明子氏を講師に、年々ステップアップした内 容とした起業に向けてのセミナー開催をし、令和2年度は17名の参加があった。(起業セミナーは平成27年度から実 施しており、これまでに3名、R2年は町が関与する他事業を含め、2名が起業している。) ○障がい者を雇用する事業所への職域開拓・雇用ノウハウの指導等を総合的に行うとともに、就労を希望する障が い者等に対して、相談・育成・マッチング・就労定着支援を行い、障がい者雇用に関する企業側の基礎的データの収 集、提供を行い、障がい者の雇用促進につなげるなど、企業支援を行った。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

A:実現した

B:(総合戦略策定時と比較して)大きく前進した

C:(総合戦略策定時と比較して)前進した

D:(総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した

E:(総合戦略策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>○起業セミナーへの参加者は頭打ちの傾向があることから、新たなターゲットの検討も必要である。</p> <p>○企業の障がい者雇用に対するニーズは予想以上に高く、雇用までのプロセスや手法が明確でなかったことから障がい者雇用が進まなかった一面もあることから、障がい者雇用を希望する企業への戸別訪問を継続して行うなど、新たな一般就労先企業を掘り起こす。また、一般就労を果たした障がい者、雇用した企業へのフォローアップを行うなど、定着の支援を行う。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	<p>○障がい者の自立促進</p> <p>○労働力不足対策の推進</p>

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

●起業セミナー開催

これまでのセミナーを継続するとともに、令和3年度からは講師と参加者のオンラインによる個別相談を実施し、具体的な起業に向けた支援を行う。

●障がい者雇用

福祉的就労から一般就労した方の定着支援とフォローを強化するため、令和3年度から本事業を障がい福祉係に移管し、職域開拓については、業務を受託しているNPO法人と町障がい福祉担当と労政担当が連携し、企業訪問を行っている。また、障がい者の就労における課題である通勤については、その課題を解決する通勤サポート事業の令和4年度開始に向けて、企業のヒアリングを行っており、事業実施に向けた検討を進めている。

6. 経営戦略会議(府内評価)

評価	成果指標等から、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
進捗結果			○				
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した					

A:実現した

B:(総合戦略策定時と比較して)大きく前進した

C:(総合戦略策定時と比較して)前進した

D:(総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した

E:(総合戦略策定時と比較して)後退した

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	府内評価同様、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
進捗結果			○				
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した					

A:実現した

B:(総合戦略策定時と比較して)大きく前進した

C:(総合戦略策定時と比較して)前進した

D:(総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した

E:(総合戦略策定時と比較して)後退した